

筆の里工房11月の休館日
11月5日・12日・19日・26日

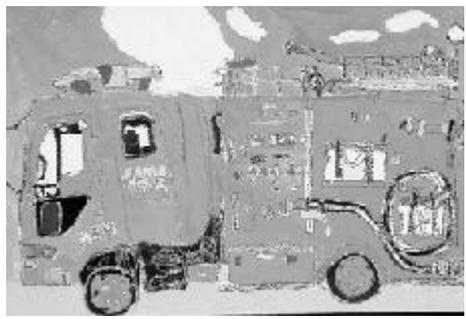
(前後期) 11月27日祝～12月9日祝
 (後前期) 12月11日祝～12月24日祝
 (後々期) 12月26日祝～1月14日祝
 佳作・特別賞・激励賞については、応募のあった都道府県により、展示期間が異なります。詳しくは、筆の里工房へお尋ねください。

第5回筆の里「ありがとうのちよっと大きな絵がみ大賞」
 入選作品展
 一般の部「ありがとう大賞」
 ・「特別賞」・「優秀賞」・「葉書大賞」・子どもの部「ありがとう大賞」・「葉書大賞」
 11月10日祝～1月14日祝
 一般の部 佳作・子どもの部 特別賞
 (前期) 11月10日祝～12月9日祝
 (後期) 12月11日祝～1月14日祝
 一般の部・子どもの部 激励賞
 (前々期) 11月10日祝～11月25日祝

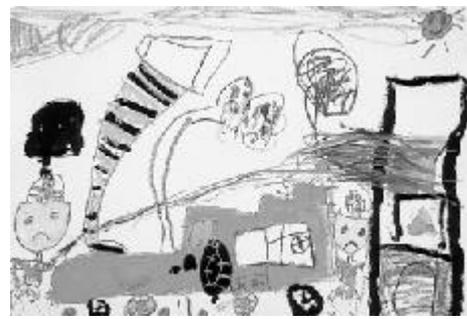
筆の里 絵てがみ年賀状募集
 入場料 大人 300円(240円) 小中高生 150円(120円)
 (内は団体割引20人以上)
 テーマ 自由
 募集作品 絵と文字が入った絵はがき(オリジナル作品)
 応募資格 制限なし
 募集規定
 筆を使用した絵てがみ年賀状作品(紙質は葉書程度のもの)
 用紙は定形郵便物(23.5cm×12cm)以内(縦横自由)・裏面のみ使用のこと
 1人何作品でも応募可。ただし1作品ごとに応募してください。
 出品者の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号を1作品ごとに記入してください。
 作品は本人の自作で未発表のものに限りませ。(模写不可)
 応募は郵送もしくは直接持参してください。
 募集期間 12月1日祝～12月31日祝(当日消印有効)
 入賞 《一般の部》

大賞 (賞状・絵てがみ小箱・副賞5万円) 1人
 特別賞 (賞状・絵てがみ小箱) 10人
 優秀賞 (賞状・絵てがみ用筆) 100人
 《子どもの部 中学生以下》
 大賞 (賞状・図書券(5千円)) 5人
 優秀賞 (賞状・絵てがみ用筆) 20人
 入賞は1人1作品とします。発表入賞者には平成14年1月末日迄に直接通知します。展示 入選作品は、期間中筆の里工房に展示します。
 期間は平成14年2月1日祝～2月28日祝
 開館時間 午前9時半～午後5時(入館は午後4時半迄)但し、毎週月曜日(祝日の場合翌日)は休館日です。
 備考
 入賞作品の著作権は、主催者に帰属します。なお、応募作品は返却いたしません。
 入賞者は「絵てがみ文化種時き人」として認定いたします。(認定書交付)

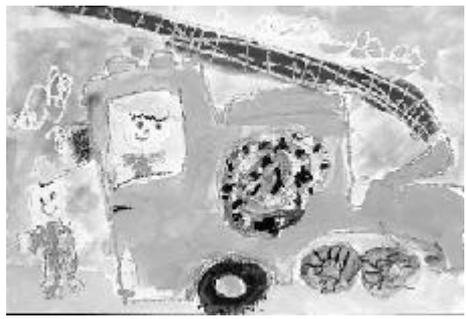
第29回消防写生大会特賞入選作品
(敬称略)



熊野町長賞
熊野第一小学校4年
土路 友莉奈



熊野町長賞
ひかり学園 年長
若村 樹奈



安芸地区区工同好会長賞
淳教幼稚園 年長
福原 智史



海田地区消防組合消防長賞
熊野第一小学校4年
福原 博志

この地に (薮姥)

地元、熊野高校を通じて、地域と学校について考えていきます。



10月5日、晴天に恵まれ熊野高校体育祭は始まりました。若者のエネルギーはぶつかりあい、励まし合い、すばらしい汗となり思い出となりしました。保護者の皆様・ご来賓の方々、応援ありがとうございました。



躍動の体育祭

熊野が育てる

熊野を育てる

熊野高等学校



ねんりんピックで

熊野高校のボランティア、審判補助員、「掛け軸に挑戦」を担当した生徒達は本当によく頑張りました。「まさかこんなに大きなイベントとは」、「選手の皆さんに喜んでもらってうれしかった。」と感想を語ってくれました。



Aクラス7時間目補習

Aクラスがスタートしてすでに半年が過ぎ、「7時間目の補習」も流れに乗り、生徒の表情に余裕がでてきました。

また少しずつ実力も発揮され、模擬試験などでは良い結果も出始めています。「これからどんどん頑張ります。」と男子生徒のグループが話してくれました。



今、女子バスケット部が熱い!

11月10・11日 広島地区新人戦にむけて女子バスケット部が猛練習を続けています。蒸し暑いこの夏をのりこえ、最後の調整段階に全力をかけています。皆さん、応援よろしくお願いします。



くまの俳壇

熊野俳句同好会

【熊野婦人俳句会】

鶏頭や逢ひたき人と会へば雨
 高原の果て何處までぞ蕎麦の花
 ひと言も話さぬ日なりちちる鳴く
 水浴びて眠る幼子見てうれし
 名月や夫の遺して呉れし庭
 今日あるを今日の倅とす草の花
 夕風に残る香のあり婆羅の花
 敬老日妣の残せし銭太鼓
 柿くはへ犬玄関に駆け戻る
 青空やはや色づきし梅擬

【西公民館俳句グループ】

遅刻の子走るや走る稲の道
 ふるりの青田の中の診療所
 早稲の田に雀百羽の羽音かな
 湯につかり鈴虫の声聞き入りぬ
 寝つき娘き夫の軒や遠花火
 近道の徒空となりたる草いきれ
 一人の湯落す音にも夜の秋
 青菜を架台に一つ置いてあり
 隠れたる子はすけて見ゆ萩の花
 潮風に傷みし蔵に昼の虫

工藤 義夫	山崎 貞子	亀谷 しず恵	堀野 眞理子	立花 よしえ	久保田 フクヨ	上野 啓子	大田 文子	阪本 清子	隠士 信子	西村 柳子	別府 藤子	渡辺 文子	高橋 喜美子	長山 法江	尺田 せつ	関村 光子	南村 マサ子	進藤 津美	木村 里風子
-------	-------	--------	--------	--------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	--------

今年の「ねんりんピック」は、広島県の各会場で行われた。俳句大会は、尾道市、協賛作品を市内小中学校の子供達から募集したところ5千句近くの俳句があった。子供達からの発信である。尾道市周辺の景色が最も多かったのは、故郷は尾道ということか。その中には、情感の深い俳句もあった。
 この子供達が成人して尾道を去ったときに子供のとくに作った俳句は忘れないであらう。

木村 里風子